

主要障害	各々のグループでの見解	
A) 消費者需要が不確 実で、xEV量産体勢 に入れない	消費者	何もかも新しすぎて、とてもうまくいと思えない。将来的にはよさそうだけれども、早く手を出しすぎて、高い金を払った割りに、結果的には不便なものをつかまされてしまうかもしれないし。
	自動車メーカー	以前、新技術でやけどさせられたことがある。後でその技術に問題があることが発覚しても、ダメージを受けるのは我々のブランドで、在庫の山ができてしまう。テスラモーターズはEVで成功しているかもしれないが、所詮、新興の自動車会社。我々の生産ラインとボリューム・車種の数の桁が違うので参考にはならない。
	充電サービス企業	本格的にビジネス展開するためには、いつ、どこで、どれくらいxEVが出てくるのか知る必要がある。それと、その普及してくるxEVの仕様もわからないと。。。
	電力会社	xEVの普及は、サービスコストにも、系統信頼性にも影響するので、積極的に進めていいものかどうかかわからない。たまたまかかったとしても、影響を阻止するための予防策に投資する資金が不足しているし。。。
	xEV支持者	消費者は、xEVを運転する機会があればきっと気に入ると信じている。だから、自動車メーカーはxEVを作るべきだ！ただし、xEVの需要を喚起するためには消費者への教育は必須。それについては、我々が力になる。
B) バッテリー価格が高 すぎる / 不明確な 主要変数	バッテリーメーカー	バッテリーコストは時間とともに安くなるだろう。会社の規模が大きくなり、量産できれば。。。
	自動車メーカー	xEV販売価格からバッテリーコストを切り離し、消費者のxEV購入時の負担を軽くするような金融手段がないだろうか？それと、バッテリーメーカーはどれも小粒で、xEVの量産体勢に入っても、それに見合う個数のバッテリーを納品できるのか不安
	電力会社	誰もが、大量の分散バッテリー（xEV用としては寿命が来たものを、家庭用蓄電池として活用する）を所有 / 使用することができれば、電力会社は大もうけできている。そうかもしれないが、我々としては、そんな不確かなものを資産の一部として帳簿に載せたくない。更に、規制料金下では、使用する設備の減価償却費などをABC分析して配賦するなどの規定があるが、使い古しのxEVバッテリーの初期費用をどのようにリカップリングすればいいのか？
C) 充電インフラに誰が 投資するか	消費者	高い金を出してxEVを購入したのに、充電インフラ設置費用に回すためにもう千ドル出せだって？冗談じゃない！
	電力会社	相応の充電料金を設定しても良いなら、充電インフラに投資しよう。その方が制御しやすいが、そうなるかどうかかわからない
	コネクター	誰かが充電インフラに投資し、充電スポットを設置してくれたら、我々の提供するサービスを使っていただくことはできますが。。。自分たちでインフラに投資する価値があるのだろうか。。。
	地方自治体 / 小売業者	公共充電スポットは住民 / 顧客にとって魅力的だとは思いますが。。。どのくらいの費用がかかるんだ？
D) 如何にして電力事 業の規制との整合 性を担保するか	自動車メーカー	州や地域ごとに異なった規制があり、xEVに対する理解度 / オープン度が異なっているのに、どうしたらいいのか？
	電力会社	xEVへの取組みは(電力)会社によって違うので、何も指摘されなければ、我々のビジネスモデルに従ってxEV充電に対処す
	規制機関	電力会社が充電インフラに投資するのを許可するかどうか判断するに当たっては、V1GやV2Gが電力顧客にとって有益だという証拠を確認したい。特に、EV用バッテリーのオーナーシップのような今までにないビジネスモデルに関しては。
E) 通信、請求、充電管 理サービス / 構造 が定まっていない	消費者	特定の充電ネットワークや、契約している電力会社の充電スポットでしか充電できないシステムには入りたくない
	上位機関	既にこれに関する規格を作るグループがあるので、そこで統一規格を作らせよう
	コネクター	標準規格ができるのを待っていたら日が暮れてしまうが、見切り発車して、後で、自分たちの首を絞める結果になるのもいやだから標準制定機関の承諾なしにどんどん進めるわけにもいかない。標準制定機関が、イノベーションを促進するために、厳密性と流動性についてバランスを持っていると思えないし。。。
	IT/SW/HWプレーヤー	主要プレーヤーか、関連するプレーヤーで組織されたコンソーシアムでデファクト標準をプッシュすれば物事が速く進む
	電力会社	各xEVに関する情報の基礎的なセットを持つ必要があり、できるだけ早く知る必要がある。